

久喜市水道ビジョン（経営戦略）（案）第6章、第7章、用語解説に対する質問と回答について

【第6章】

NO.	分野・項目		質問・意見・提案など	意見に対する考え方・回答（案）
	ページ	項目等		
1	53	経営の健全性・効率性について 【経常収支比率】 【料金回収率】	<p>説明文、下から7行目で、 「経常収支比率」の説明について、次ページグラフ下に記載されている算出式では、「経常収支比率(%)=経常収益÷経常費用×100」としている ので、市民目線の立場から、より分かりやすく理解してもらえよう、算出式の言い方どおり、「経常収支比率とは、給水収益等の収益（経常収益）で維持管理費や支払利息等の費用（経常費用）をどの程度賄えているかを表す指標です。」と、下線部を追加してはどうか。</p> <p>同様に、 「料金回収率」の説明についても、グラフ下に記載されている算出式では、「料金回収率(%)=供給単価÷給水原価×100」としている ので、こちらも、算出式の言い方どおり、「料金回収率とは、給水原価に対する供給単価の割合を表す指標であり、100%以上であることが望ましい指標です。」と、書き改めたのがいいのではないかと、 あるいは、 「料金回収率とは、水道水の給水に係る費用（給水原価に年間総有収水量を掛けた金額）がどの程度給水収益（供給単価に年間総有収水量を掛けた金額）で賄えているかを表す指標であり、100%以上であることが望ましい指標です。」と、下線部を追加してはどうか。</p>	<p>「経常収支比率」の説明文については、ご意見のとおり「経常収支比率とは、給水収益等の収益（経常収益）で維持管理費や支払利息等の費用（経常費用）をどの程度賄えているかを表す指標です。」と修正いたします。</p> <p>また、「料金回収率」の説明文についても、ご意見をふまえ、「料金回収率とは、水道水の給水に係る費用（給水原価に年間総有収水量を乗じた額）がどの程度給水収益（供給単価に年間総有収水量を乗じた額）で賄えているかを表す指標であり、100%以上であることが望ましい指標です。」と修正いたします。</p>
2	53、54	【経常収支比率】 【料金回収率】	経常収支比率・料金回収率ともにR2年度の比率が低下している。新型コロナ禍対策（支払免除）が原因と思われるが、説明を要する。	ご意見をふまえ、P53の説明文の最後に、「なお、令和2年度については、コロナ禍における市民生活への支援として実施した、水道料金の基本料金2ヶ月分免除の影響により、一時的に数値が低下しています。」と追記いたします。
3	54～61	経営比較分析表	<p>主な指標の各図表に現れる「類似団体」とは、何の団体か。令和2年度の全国平均値と同年度の「類似団体」の数値が違うため。</p> <p>P54～P61に掲載されているグラフすべての凡例項目タイトル名が類似団体となっており、赤線と同数値とが一致していますが、グラフ右上に表示されている令和2年度全国平均とは何か。 P56からP62までに掲載されている文言にも、「本市では、過去5年間において全国平均値や類似団体平均値」とある。 全国平均値＝類似団体なら、どちらかに統一した方がいいのではないかと。</p> <p>各グラフ及び説明文に記載されている「類似団体」とは、総務省から毎年度公表される地方公営企業決算経営比較分析表に記載されている給水人口規模ごとに区分された団体のうち、給水人口が同程度の団体のことと思いますが、この言葉の意味についても、巻末の用語解説に掲載するか、本文中のどこかに記載した方がよい。 本ビジョン案はパブリックコメントにかけられる案件なので、市民目線の立場で、より分かりやすく丁寧に記載すべき。</p>	<p>類似団体とは、総務省から公表される経営比較分析表において、「現在給水人口規模15万人以上30万人未満」の区分に該当する団体のことをいいます。 全国平均値とは、末端給水事業の全事業体における平均値です。</p> <p>ご意見のとおり、P53 6-2 「経営比較分析表を活用した現状分析」の説明文の最後に、 「なお、経営比較分析表における類似団体とは、「現在給水人口規模15万人以上30万人未満」の区分に該当する団体のことをいいます。 また、全国平均については、末端給水事業の全事業体を対象としています。」と追加いたします。</p>
4	55	【流動比率】	グラフ下に記載されている算出式の言い方どおり、 「流動比率とは、～～～です。1年以内に支払わなければならない債務（流動負債）に対して支払うことができる現金等（流動資産）がある状態を示す100%以上であることが望ましいとされています。」と、下線部を追加してはどうか。	ご意見のとおり、「流動比率」の説明文1行目について、「1年以内に支払わなければならない債務（流動負債）に対して支払うことができる現金等（流動資産）がある状態を示す100%以上であることが望ましいとされています。」と修正いたします。

5	57	【給水原価】	給水原価の計算式が記載されているが、p78の計算式と異なる。確認をお願いしたい。 算出式の、括弧の位置が間違っているのではないか。 巻末「用語解説」p78に記載されている算出式が正しいのでは。 また、給水原価の単位は、(円)ではなくて、「用語解説」の方に記載されている(円/m)ではないか。 パブリックコメントにかけられる案件であるため、より正しく記載した方がいいのではないか。	P57及びP78における給水原価の計算式については、 給水原価(円/m) = {経常費用 - (受託工事費 + 材料及び不用品売却原価 + 附帯事業費) - 長期前受金戻入} ÷ 年間総有収水量 と訂正いたします。
6	57	【給水原価】	経常費用のうち、受水費はどれほどの割合となっているか。	経常費用のうち、受水費の占める割合については、令和2年度において33.8%となっております。
7	58	【施設利用率】	「利用率には一定の余裕が必要」であるならば、100%が目標ではないはず。ならば、「過去5年間に100%を下回っていますが、」よりも「～75%以上を維持し」の方がよい。	施設利用率については、100%にならないため、ご意見のとおり、「過去5年間に100%以上を維持し、」と修正いたします。
8	59	【有収率】	「有収率の維持・向上に努める」というフレーズについて、数値的な目標(SDGsの目標値としての意味)を設定して取り組むというのは難しいか。	有収率については、配水管の布設替を計画的に行うとともに、漏水調査や漏水修繕を実施することで、維持・向上に努めています。 有収率は、取組み結果が数値に反映しにくいことなどから、目標とすることにはそぐわないと考えております。そのため、本ビジョンにおいても数値目標の設定はしていないところです。
9	60	【有形固定資産減価償却率】	説明文中、 「本市では、全国平均値や類似団体平均値を上回っており、～～」とあるが、次のように、改めた方がいいのではないか。 「本市では、類似団体平均値及びR2年以降については全国平均値を上回っており、～～」 全国平均値との比較については、全年ではなくて、R2年以降になっているため。	P54～P61の経営比較分析においては、全国平均値は令和2年度数値のみを掲載し、類似団体平均値は過去5年間を掲載しております。 このことから、具体的な年度の記載がなくても、全国平均値との比較は、令和2年度のみ結果と捉えていただけてと考えておりますので、原案のままいたします。 なお、ご意見をふまえ、他の指標の説明文を確認し、P56の【企業債残高対給水収益比率】については、3行目以降を 「本市では、全国平均値や類似団体平均値を下回っており、過去5年間に、企業債の発行が抑制されていることを示しています。」と修正いたします。
10	61	【管路更新率】	説明文中、 「本市では、過去5年間に減少傾向が続いており、全国平均値や類似団体平均値を下回っていることから、～～」とあるが、グラフでは、全国平均値や類似団体平均値を下回っているのは、R1年からとなっているので、次の箇所、下線部を追加した方がいいのではないか。 「本市では、過去5年間に減少傾向が続いており、特にR1年以降については全国平均値や類似団体平均値を下回っていることから、～～」	ご意見をふまえ、「管路更新率」の説明文については、3行目以降を、 「本市では、過去5年間に減少傾向が続いており、特に令和元年度以降については、全国平均値や類似団体平均値を下回っていることから」と修正いたします。
11	65	浄水場の投資計画 (主なもの)	事務局より訂正	表のうち、一番右の行、計画期間における浄水場ごとの事業費の合計額について、 「吉羽浄水場」…「524,882」⇒「584,892」 「鷺宮浄水場」…「99,928」⇒「95,968」 「合計」…「4,905,830」⇒「4,901,870」 に訂正します。
12	66	(1) 収益的収支 グラフ	グラフ左軸の軸名「収益的収支(億円)」とあるが、「収益的収入・収益的支出(億円)」と、それぞれの語を「・」できちんと分けた方がいいのではないか。 なぜなら、収支とは、収入と支出との合体語で、一般的には、収入と支出との差額を思い起こさせる語であり、グラフ右軸名の損益という語と同意語になってしまうのでは。	ご意見のとおり、グラフ左軸を 「収益的収入・収益的支出(億円)」と修正いたします。

13	67	(2) 資本的収支 グラフ (下)	人口減少下における企業債発行 (企業債残高) の漸増は中長期的な財政の 硬直化を招き悪影響を及ぼしかねない。	財政シミュレーションの結果、企業債残高の規模を表す指標である「企業 債残高対給水収益比率」は、計画終了年度である令和14年度では109.50%、 40年後の令和44年度では177.23%となっており、令和2年度時点における全国 平均275.67%及び類似団体平均294.66%を下回っているため、経営の健全性は 保たれている状況といえます。 一方で、世代間での負担の公平性を考慮する必要があることから、借入額 や残高には十分に留意していきます。
14	67	(2) 資本的収支 グラフ (上・下)	上のグラフ左軸名「資本的収支(億円)」を「資本的収入・資本的支出(億 円)」と、それぞれの語を「・」できちんと分けた方がいいのではない か。 さらに、説明文、下から2行目、「資本的収支と資金残高の見通しは以下 のとおりです。」を「資本的収入・資本的支出と資金残高、及び、企業債 償還金・支払利息と企業債残高の見通しは以下のとおりです。」と、改め たほうがよいのではないか。	ご意見のとおり、上段グラフ左軸を 「資本的収入・資本的支出(億円)」と修正いたします。 また、(2)資本的収支の説明文については、5行目を 「資本的収入・資本的支出と資金残高、及び、企業債償還金・支払利息と企 業債残高の見通しは以下のとおりです。」 と修正いたします。
15	68、69	財政計画	事務局より訂正	企業債の借入条件を訂正したため、数値が変更となっております。 P68、69については、資料3のとおり差替えいたします。
16	68、69	財政計画	この表での数値が税抜であるなら、表の右上に、(単位：千円、税抜)と 追加記載したのがいいのではないか。 現行のビジョンでは、(税抜)と記載されているのに対し、市ホームペー ジで公表されている令和4年度水道事業会計予算書の予算実施計画では、 (単位：千円、税込)と掲載されているなど、混乱を招かぬため。	財政計画については、収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みとなっ ており、明確にする必要があるため、ご意見のとおり、「税抜・税込」をそれ ぞれ記載いたします。
17	68、69	財政計画	国庫補助金は見込まないのか。	計画期間における国庫補助金については、補助金の交付要件に該当するも のに対して申請を行う予定です。補助金は、交付決定があつてはじめて収入 が確定することから、未確定な収入を財政計画に盛り込むことは、将来の推 計を実施する上では好ましくありません。そのため、財政計画では、補助金 の収入については見込んでいないところです。
18	70～73	財源試算の詳細、表	P73における各項目での「将来値設定条件」欄の説明記述がP70～P72で記 載されている各項目の条件と一致していない箇所が多数見受けられる。 検証してみてください。	ご意見を受け、P70からP72の説明文及びP73の表について、確認いたしま した。その結果、一致していない箇所が多数見受けられましたので、資料4 のとおりP70からP72を差替えいたします。 なお、P73の表については、P70からP72の説明文と内容が重複しているた め、削除させていただきます。
19	70	②水道利用加入金	説明文中、「～～、令和4年度予算値を基準として給水収益に比例するこ ととして算出しています。」とあるが、「～～、令和4年度予算値の加入 金及び給水収益を基準として、推計した将来の給水収益に比例することと して算出しています。」と、下線部を追加してはどうか。 原文どおりのままだと、令和4年度予算値とは令和4年度の給水収益のみ だけに捉えられ、加入金のことは浮かびにくいのではないか。	P70の水道利用加入金の説明については、「令和4年度予算値を基準とし て」ではなく、「令和3年度予算値を基準」とするのが正しい表記となりま すので、訂正いたします。 その上で、算出方法については、令和3年度予算値の給水収益に対する加 入金の割合を基準として、将来の給水収益に比例することとしておりますの で、ご意見をふまえ、 「～、令和3年度予算における給水収益に対する加入金の割合に、推計した 将来の給水収益を乗じて算出しています。」 と修正いたします。
20	72	(5) 物価上昇率について	消費者物価指数は0.4%を採用しているが、この数値は正しいのか。	物価上昇率については、総務省の消費者物価指数の前年度比をもとに設定 しています。採用した上昇率は、平成28年度から令和2年度の5年間の平均値 としています。 なお、現在の物価上昇については、認識しているところですが、本ビジョ ン策定における将来の推計にあたりましては、できる限り直近の数値を採用 し、算出したものとなっております。
21	74	投資財政計画に未反映の取組 や今後検討予定の取組の概要 (6) 民間活力の導入	「民間活力の導入」が未確定のものとして表記されているが、第5章 (P50)において、民間委託の活用について記載されていることから、6- 4-4の「民間活力の導入」は削除してよいのではないか。	P74(6)民間活力の導入については、P50、第5章において、官民連携の調査 に対する方策「民間委託の活用」として設定しているため、ご意見のとおり 削除いたします。

【第7章】

NO.	分野・項目		質問・意見・提案など	意見に対する考え方・回答（案）
	ページ	項目等		
1	75	フォローアップ	PDCAサイクルの図はサイズを小さくし、「見直し」に係る文章後半部分との間に入れてはどうか。「見直し」に係る後半の内容を充実させる狙いからだが、「経営に大きな影響を与える変化」とは何かなど、今想定している変化があれば列記してみてもどうか。	ご意見のとおり、図については小さくし、「見直し」に係る文章後半部分（4行分）との間に入れるよう修正いたします。 また、水道ビジョンは、10年間をとおして継続して実施していくものであり、基本的には計画期間中の見直しは考えていないところです。万が一、計画内容に影響を及ぼすような変化があった際には見直しを図る必要があるとして、このような表記をさせていただきました。そのため、原案のままといいたします。 なお、「投資・財政計画」については、決算により計画値と実績値の比較・検証が明確にできることから、5年後を目安により実績や現状に合わせた見直しを実施いたします。

【用語解説】

NO.	分野・項目		質問・意見・提案など	意見に対する考え方・回答（案）
	ページ	項目等		
1	78	供給単価	単位は、(円)ではなくて、(円/m ³)。	ご意見のとおり、給水原価の単位を(円/m ³)と修正いたします。
2	82	有収率	「浄水場から配水された水道水のうち水道料金として回収された比率を表す指標。」とあるが、P59の説明文及びP82の有収水量の説明文に合わせて、「浄水場から配水された水道水（配水量）に対する料金徴収の対象となった水量（有収水量）との比率を表す指標。」と改めた方がいいのではないかと。理由は、原文の「水道料金として回収された比率」のままでは、比率の対象となる「水道料金として回収された」とは何か、料金のことか、水量のことか。不明瞭なのではと感ずるため。	ご意見をふまえ、「有収率」の説明文を、「浄水場から配水された水道水（配水量）に対する料金徴収の対象となった水量（有収水量）の割合を表す指標。」と修正いたします。

第2回審議会における検討事項に対する回答

【貯水槽水道】

NO.	分野・項目		質問・意見・提案など	意見に対する考え方・回答（案）
	ページ	項目等		
1	41	方策のまとめ	第2回審議会におけるご意見	区分「水質」 課題「地下水及び水道水の水質管理」 方策「水質監視の継続及び衛生行政との連携」 を追加いたします。
2	42	(2) 水質の課題と方策	第2回審議会におけるご意見	課題「地下水及び水道水の水質管理」 方策「水質監視の継続及び衛生行政との連携」 を追加いたします。 文章については、最後に 「また、貯水槽水道の水質保全を図るため、衛生行政との更なる連携強化を図っていきます。」 と追記いたします。
3	51	年次計画表	第2回審議会におけるご意見	区分「水質」 方策「水質監視の継続及び衛生行政との連携」 を追加いたします。

【管路内水質管理】

NO.	分野・項目		質問・意見・提案など	意見に対する考え方・回答（案）
	ページ	項目等		
1	27	《管路内水質管理》 【課題】	第2回審議会におけるご意見	文章を、 「今後、経年化した管路が増えることにより、濁り水の発生リスクが高まる ことが予想されるため、水道管洗浄作業などの維持管理や計画的な管路の更 新が必要となります。」 と修正いたします。
2	45	管路の適切な更新／ 管路の計画的な更新	第2回審議会におけるご意見	文章を、 「管路については、漏水調査や水道管洗浄作業などの適切な維持管理を行 いながら長寿命化を図るとともに、基幹管路、配水管の更新及び補強連絡管の 整備については、アセットマネジメントによる試算を実施し、重要度・優先 度に応じて更新需要を平準化したうえで、計画的に実施していきます。」 と修正いたします。